

# ななかま

古大木 万の若葉も 整然と  
七面鳥も 通過するなり 春時雨

## 俳句コンテストに入賞!! (UNIS 主催)

JASL2 ドネリー ファインカーソン

JASL4 シュー エマ、ラマチャンドラン マリカ

中3 木所和資

おめでとうございます。作品は後日紹介します (まだ入賞者しかわかりません)。

## 第33回海外子女文芸作品コンクール 作品募集中(海外子女教育振興財団)

作文・詩・俳句・短歌の作品を募集しています。締め切りは6月24日(例年より早い)です。全員挑戦してみたいかでしょうか。応募票は先生から頂いてください。

### 俳句のたのしみ

松尾芭蕉は「俳諧は平話を用う」(『三冊子』)と述べています。俳句はふだん使っている言葉を使う(古典に寄りかからない)というのです。五七五の12音に季節と自分の心情を込めて言葉を紡ぎだすとき、自分の日常使う言葉のもつ意味合いに思いをいたし新しい輝きを見出すことができるのです。俳句コンテストに入賞した皆さんの作品を見るのが楽しみです。

### 「十人十色」(その1)

学校では、生徒に国語などの教科を教えて、そのあとテストをしてその成績を保護者に伝えます。私が中学生の頃は9教科の合計点の順に校舎廊下に全校生徒の名前が掲示されたりもしていました。ですから、学校を卒業してからも長い間、点数が高いことが優秀さを示すものだと考えていました。ところが、社会に出てみてどうもその考えは間違っているようだとなってきました。

社会に出て必要とされる、正確にもものを作る能力や、新しい発想ができる能力や、人の気持ちを幾重にも想像できる能力などは、学校で行うテストでは評価の対象になりません。ですから、学校でもらって帰る通知表では、あなたの能力は十分評価されていないということになります。学校で行う評価は、平均値であったり、点数化できるものだけを対象にした片寄せたものであることをよく理解する必要があります。

ですから学校の成績は参考にしこそすれ、信じてしまう性質のものでは決してないといえます。将来の自分の夢を本当に実現するためには、自分の長所をどこまでも追求することであって、平均的な優等生になることではないのです。

## プリンス日本語学校(補習校部)



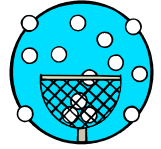
平成24年度 No.05号

平成24年 5月6日

文責 長尾重範

## 行事予定表

5月13日	授業参観、懇談会
5月20日	運動会予行練習
5月27日	運動会予行練習
6月3日	運動会
6月17日	漢字検定試験



授業参観と懇談会の日程は次の通りです。

13日	小学部1・2年	1校時授業参観	2校時懇談
	小学部3・4年	3校時授業参観	4校時懇談
	プリンスコース小	3校時授業参観	4校時懇談

## 「百聞は一見に如(し)かず」(2)

Seeing is believing

「くわずぎらい」という言葉があります。少年の会話の中には、「羊羹なんかきらい」「ソースが嫌い」などと偏見に満ちた言葉がよく聞かれます。大人の世界でも「食わず嫌い」は至る所に見かけられますが、偏見だけは自分の中から除いていきたいものです。

偏食が健康維持によくないように、色眼鏡で世界を見るような偏った見方も、社会にとっても自分にとっても決してよいことではないように思います。

私がバンコクにはじめて渡ったときには驚くことがいっぱいありました。スコールもその一つです。日本にいるときに想像していたものとは幾分異なっていて、悟空が乗っている筋斗雲を大きくしたような雲の塊がまっ平らな平野の上を横切っていく、その下だけ強烈な雨が降るのですが、それ以外の所は一滴の雨も落ちてきません。日本の台風や低気圧のすさまじい嵐を知っている私には、それが穏やかな印象さえ持ちました。

そして次は洪水です。日本では土砂崩れ、がけ崩れ、鉄砲水などと結びつく、とても危険な印象がつきまとうものですが、バンコクの洪水はチャオプラヤ川の上流で降った雨水が何十日もかけてゆるやかに流れ下って、じわりじわりと下流の水位が上がり低地が冠水するもので、日本と比べて印象は全く異なります。

もう一つ、家屋の簡素さです。田舎に行くと、屋根が木の葉葺きだったり、窓ガラスがなかったり、家具がほとんど見受けられない家が目に付きました。しかし、嵐がほとんど来ないし地震の心配もいらず、さらに冬の重たい衣装をしまう箆箆も必要ないので、あえて頑丈な造りの家屋や家具は必要ないといえます。それらを見て気づくのは、その素材や構造がその地方の気候条件と密接に結びついているということです。聞くと見るでは大きな違いがありました。